

アイダホ州：小麦作柄と気象状

2002年6月18日

低温に変わりこの週は一気に気温が上昇し、同時に小麦の生育が早まった。北部地区でも最高気温が88～93度F（31～33度C）に達した。降雨は北部地区で多少見られたが、全州にて殆ど降水は記録されなかった。北部地区では3月1日からの累計降水量は、～因縁の60～80%であり、南西地区では平年の50%未満である。小麦の生育は早まったとは言え、全体としては平年より遅れている。また、先週の霜はやはり一部の冬小麦に被害を与えていた。冬小麦は出穂36%（昨年同期：46%、平年：52%）の状態である。春小麦の出穂は5%、昨年並びに平年より遅れている（昨年同期13%、平年19%）。農作業可能日数は週平均6.7日であった。

6月1日の農務省による冬小麦の生産予想では、単位収量は75.0ブッシェル、収穫面積690千エーカー、収穫量は51,750千ブッシェル（約140万トン）と成っている。

2002年6月16日現在

土壌水分：

Topsoil	Very short	Short	Adequate	Surplus
This week (%)	6	38	56	0
Last week (%)	3	34	63	0

灌漑用水：

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Water supply (%)	2	20	31	46	1

小麦作柄：

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Winter wheat (%)	1	2	24	64	9
Spring wheat (%)	3	3	24	62	8

小麦進捗状況：

	This week	Last week	2001	Ave.
Winter wheat jointed (%)	99	95	100	99
Winter wheat booting (%)	83	60	82	84
Winter wheat headed (%)	36	24	46	52
Spring wheat merged (%)	100	99	100	100
Spring wheat jointed (%)	78	54	74	75
Spring wheat boot (%)	22	9	43	43
Spring wheat headed (%)	36	1	46	52

Source : Idaho Agricultural Statistics Service